

別紙

令和6年11月29日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長

森田 洋一 様

議会報告会 4班（都市建設委員会）

班長	笠原 久恵
	野村 誠
	小沢 えみり
	清水 大
	高橋 あきら
	近藤 みほ
	中村 彰男

第24回議会報告会（第2部）の概要は下記の通りでしたので、報告します。

記

1 概要

男性 後平井在住

「私のマンションの南側のほうに道路が走っているが、今は、運動公園周辺の区画整理事業対象地になっている。中駒木線と新川南流山線二つの道路、中駒木線はほぼ工事が終わっている。

2車線にする予定だが現在はなっていない。新川南流山線のほうは多分3月ぐらいを目途に工事が行われている。そうすると今度はうちのマンションの南側道路が恐らく交通量が増える。

両側に信号機がついて通り抜けできるようになる。そうなったときに、どういう影響があるかっていうことを今検討しているのだが、先日市役所に行って、交通規制はしないのか？と聞いたところ、今のところ交通規制は考えてないとの回答。

最高スピード60キロまで出せるのはどうか？うちのマンションから駅のほう

に行くところはかなりの人が通る。30 km/h とか 45 km/h くらいの速度制限にするべき。あるいは駐車違反のあれ（不明）をつくるとか。それから、そこに横断歩道をつけてもらえないかと市にお願いしたら、信号機がないと横断歩道はつけられないんだと言われた。信号機がなくても横断歩道がついている道路っていっぱいある。警察は今はそういう方針だから、信号機がつかなければ横断歩道はつけられないと言われた。子供も結構多いし、危ないんじゃないかっていう話が自治会では出ているが、それに対して警察に要望を出さないのかって言ったら、住民の七、八割ぐらいが署名して出さないと無理だろうなみたいな話で案外市のほうも素っ気ない返事だった。

そういうのはもうちょっと住民の意見を聞いて、道路規制とか、横断歩道設置とか考えてもらいたい。運動公園のテニスコートの周辺に飲食施設をつくるっていう計画があったはず。ところがテニスコートの周辺の整備は既に終わっているのに、飲食店がどこにできるのかあるいはその誘致をやっているのか、そういう話が全然聞こえてない。その辺はどうなっているのか？」

中村委員

「該当する道路は県道。県道は県主導。市道に関しては市の事業。信号機設置については、多くの声をいただいています。年間県内で信号機設置数はわずか20機程度。非常にハードルが高い。内容は理解したので、まずは現地を把握してから取り組んでいきたい。」

男性 後平井

「県の道路だというのが、マンションの南側道路は多分市道だと思う。」

中村委員

「口頭では判断できない為、近日中に現場に赴いて確認させていただきま

す。」

高橋委員

「この前、運河の道路の安全対策について市民の方から陳情が出された。住民の総意として議会にそういう課題を投げかけてくれた結果、安全対策を全会一致でやっていくということが合意された。まずは自治会内の意見をまとめて、関係する他自治会の意見を調整のうえ陳情という形で出していただいて議会の承認を得る。そうやってしっかりと予算をつけるやり方もある。」

女性 向小金

「通称井崎ロードにモニュメントが置かれており、通行の妨げとなっている。モニュメントがあることで歩道が非常に狭くなっており、人が3人通れるか通れないかくらいの幅になっている。

既にここでつまずいてけがをしている方がいる。多動のお子様をお持ちの方からは不安で不安で仕方ないという意見が出ている。早急に対応して欲しい。今から点字ブロックをつけるにしても、すごい幅が狭くて大丈夫でしょうか？」

男性

「議員さんのほうで目隠しして実験してもらえないか？いかに危険か分かるので。

また計画段階でこれに対して反対しなかったのはなぜか？」

男性 木在住

「ぐりーんバスの利便性について

この4月から運転士の労働の関係で、9時の終バスが8時に繰上げられている。

我々サラリーマンとして都心から帰るときに8時までにつけるのかというと厳しい。雨が降ったり、あとちょっと疲れたときにぐりーんバスを利用したい。我々の住民の福祉としてのぐりーんバスが不便になっている。

どうにかなんないか？

A m a z o n とかの送迎で社員専用のバスは遅く9時まで走っているし、おおたかの森は勤めている方が多く利用するっていうところを考えると、9時は早過ぎる。

新松戸からの新京成バスは10時ぐらいまである。

そういうところの違いは明確に分かるので何とかしていただきたいなと思います。」

女性の方

「日程について運動会と重なって今日来られない方もいる。行事と重ならない日程にするなどの配慮は出来ないでしょうか？」

笠原委員長

「このあたりの期間は毎週のようになんらかの行事がある。運動会も学校によって開催日がバラバラで、どこにしても何らかの行事と被るのは避けられない。」

女性 前ヶ崎

「障害を持つ子供を育てている。幼稚園を首になった。その中で、障害を持つ子供の育児の見通しが立たない悩みがある。1番一つ直近で悩んでいる悩みとしては、私は働いているので、小学校もしくは特別支援学校の放課後にデイサービスを使いたいですが、放課後デイサービスはどこも空きがなくて、誰も行けないぐらいの状況。その見通しを持って育児をしたい。その辺の情報をしりたい」

近藤委員

「未就学児の環境っていうのが今やっとできてきて、民間の保育園も含めて充実したところの受皿がないということを聞いています。そこは議会としても注視していますし、そこ早く進めたいというのは私たちも考えています。」

女性 前ヶ崎

「相談体制がちょっと厳しいんですよね。」

笠原委員長

「この隣のスカイハイツでも放課後等デーをやるっていう話あったんですが、できなくなったのです。できていたら御紹介したいんですけどすいません。」

近藤委員

「窓口のところでもし相談されて、問題があった場合は教えてください。私たちが間に入りますので」

<後半>

東深井の方

「東深井の宅地開発が10数箇所、これにより道路渋滞がひどい。宅地開発に伴う道路工事の許可を出す時に、工事頻度や時間帯その他なるべく渋滞が起こらないように配慮して欲しい。」

また10戸～15戸程度の小規模開発なので公園が設置されない。住環境として問題があるので何とかして欲しい。」

清水委員

「後日一緒に現地調査させて下さい。」

東深井の方

「リブル流山という発達障害の子供を持つ親の会をやっている。会員 40 名ほど。

市内の他の活動団体、近隣市の NPO ともつながりを持ちたい。そういうことを相談できる場所や人を探しにきました。

色んな部署でまたがっていてどこに相談していいか、そのとっかかりが欲しい」

女性の方

「不登校 400 人。フレンドステーションが東部地区にない。バスで通うのは大変。

市の計画の中で各地域に作って欲しい。

不登校児の専門指導員を柏のように配置して欲しいと陳情したが、議会で否決された。

不登校の子の進路は普通の進路指導とは違う。専門的な人員が必要。

各校に不登校教室を作っているが、空いている先生が穴埋め的に行っているのではだめ。

船橋のように専属の先生を配置し、不登校のためカリキュラムを組むべき。サポート教員を雇っているが、先生の〇つけをやるのではなく心のケアが出来る人に育ててほしい。教育には丁寧さが必要。」

柏の渡辺議員

「皆さんの意見を聞きに来た。」

男性の方

「このやり方は第一部、第二部分かれて良いのだが、雑然としている。議論が深まりにくい。第二部は別の部屋でやるほうが良いのでは？」

別の男性の方

「別の部屋でやるのと同時に、テーマ別でやったらどうか？」

笠原委員長

「他の市民の方がどういう質問をするのかとか、そういえばうちの地区も同じようなことあるなどか皆で情報共有する場でいいのかなと思う」

女性の方

「流山のおおたかの森を中心に開発が進んでおり、良い町のように見えるが、子どもや北部を置き去りにしていると感じる。教員の未配置の問題、恥ずかしい。先生なしクラス32クラス。校長が出ているから良いとかいう問題ではない。運河の道路の安全対策、どんどん進めてください。ぜひお願いします。学童一人2畳程度のスペース。児童館も手薄。何とかして欲しい。」

笠原委員長

「てるてるという子育て支援拠点が江戸川台東に出来たので是非覗いてみてください。」

男性 東深井

「白みりんミュージアムのKPIの設定を流政会が提案していたが、具体的な提案をしたのか？どのようにやっているのか？を聞きたい。」

近藤委員

「流政会から提案はしていたが、受け入れてもらえなかった。行政側がKPIを理解していなかった。今年流山ツーリズム側も社長が変わり、行政の体制が大きく変わった為、変わりつつある。流山の本町の街づくり、活性化にはツーリズムの力を借りなければならない。今やっと立ち直ったばかりなので、議員としては節度を持った対応が必要と思う。」

中村委員

「我々流山みらいは議案に対して白票を投じた。課題が多く良いとも悪いとも判断出来ない為、その後、愛知県碧南市、九重みりん館に視察に行った。ミツカン酢の施設は人気があって予約を入れないと見学出来ない程、盛況だった。今建物が出来て、内装、外構工事中。今後運営をどうするのが課題テーマ。入場料だけでは、維持が難しいのではないかな。土産物を販売する等大いに検討する必要がある。」

## 2 所感

(笠原 久恵 議員)

一年振りの議会報告会でしたが、私が思っていたよりたくさんの参加者と感じました。ファシリテーターの役割を担当しましたが、予定時間がずれてしまって時間配分が上手にできませんでした。

しかし、最初の紹介や報告書の作成の為、録音の承諾などができ、良かったと

思います。市民の方の発言については、お住まいの地域と苗字をお願いいたしました。様々な市民の意見を正確に聞きたいと耳を澄ましたのですが、ホールは割と音が響くので他の班の声にかき消されて、何度も聞いてしまい却って時間がかかってしまいました。参加者からは、別の部屋を取ってはどうかなどの意見が出ました。なかなか現実的ではなく、衝立てなどの利用を試しても良いのではと思います。そしてレイアウトを四隅に離してはどうでしょうか。伝えたい意見や質問を持って参加した方は、資料などを用意して参加されていました。現地をよく見たいと思います。最後に語気の強い方への対応も、参加者の協力も得て冷静に対応することができました。

（野村 誠 議員）

全議員が一同に会し、ワールドカフェ方式で1部、2部、3部形式で行ったのは、様々意見交換ができ、思ったより多く市民にも参加いただき、とても良かったと思います。

一方で、声がお互いに聞き取れない場面が多く見られたので、今回は、各テーブルごとにマイクを設置したり、テーブルの配置も、もう少し距離を近くしたり、4班の間に仕切りを設置するなどの工夫も必要と感じました。

参加された方から均等にご意見をいただく為にも、クレーム目的と思われる方への対処も検討する必要があるかと思いました。

議員が動くのではなく、参加者が時間ごとに好きなテーブルに移動する方式もいいかと思います。

（小沢 えみり 議員）

1部については、各会派の持ち時間でタイマーで測って切るなどした方が良かったのかなと思います。そこが延びてしまって後ろも押していったので。

2部3部は、皆さん言うように声が聞き取りにくかったので、部屋を分けた方がいいと思いました。

あと、市民の方もおっしゃってましたが、興味のあるテーマが違うので、テーマ別に分けて、好きな席に座っていただくのがいいのかなと思いました。

（清水 大 議員）

初の試みであるワールドカフェ方式は次回も継続で良いと思う。

一人一人に話す機会を促し易いのが利点だと考える。

反省点としては声が聞こえにくい。

一人の発言持ち時間が短い等。

4対4位のグループ分けにした方が良くもありません。

委員会ごとに分けた方が良いのか？も検討が必要かなと思いました。

（高橋 あきら 議員）

お疲れ様でした。1部は良かったかなと思いましたが、2部は聞き取れない所もあり、課題となりましたね。要望も出ましたので宿題となりました。アンケートの内容を見て検討して行けたらと思います。

（近藤 みほ 議員）

全議員が結集する豪華な会になりました。

一部では、各会派が要望し調整して決定する決算審査における全会一致の要望事項について、全会一致にはならなかったものの、各党会派で要望した項目と要望の背景について表明できたことは、有意義でした。28人の議員が、それぞれの主張について、他の議員との対話を通じて貫こうとするプロセスは重要であり、たとえ合意に至らない対立軸があったとしても、それ自体も問題の論点を明確にする活動なので、議会活動としても重要です。

二部では、委員会ごとの意見交換が行われました。特に都市建設委員会が担当する道路や街づくりに関する地域課題については、マニフェストに掲げられていたり、その地域に住む議員が直接相談を受ける方が、問題点が整理され、改善に向けて効率的に進められるものが多かったように思います。

行政課題に対する改善については、大きい声に耳を傾けるだけでなく、これまでの計画との整合性と費用対効果などの冷静な分析と、協働の姿勢が必要です。

後援会などで日常的に議員とつながり、気軽に相談できる市民と、そうでない市民とでは、行政政策における協働の質に差が生じるのではないかと感じました。私たち議員も市民にとって身近に感じてもらえる活動を目指して、さらに尽力していく必要性を感じました。

（中村 彰男 議員）

議会報告会という議員からの報告が中心と思われがちですが、実は、参加者の皆様からのご意見を伺う貴重な機会でもあり、議会に関心を持って頂く絶好の場であると考えております。地域で、市民の声を受け止め、地域の課題、向上とともに、流山市のさらなる発展のために、これからも尽くしてまいります。

本日いただきました御質疑また御意見を、しっかりと受け止めさせていただきながら、これからも一生懸命頑張っている覚悟でございます。